

B-27 織物のライブリネスのストロボスコープによる測定

大阪市大家政 田中 道一
○広田 輝次

1. 布の風合に關係する要素として壓縮彈性率、壓縮回復性、曲げかたさなどとともに曲げの変形回復の速度が考えられる。さきに布の曲げ変形におけるライブリネスを一次元方向について、ストロボスコープを用いて測定した。今回さらにランダム方向におりまげた布について同様方法による測定を行なった。

2. 試料布として天然纖維3種人造纖維10種からなる平織織物を用い、これをガラス円筒中に充填して円筒軸方向に荷重を加えて一定時間、壓縮した後荷重を除いて布が変形より回復する状態を1/10~1/100秒間隔に断続写真を撮り、これから回復速度を測定した。別にこれら試料布をたて、よこ、バイアス方向に折りまげた場合のライブリネスを同様方法により測定した。

3. まげかたさの大きい試料布は一般に回復速度はほぼ比例して大きい、変形が或範囲をこえるとこの關係は変化する。また壓縮変形がきわめて大きくないかぎり、ランダム方向のライブリネスにはバイアス方向の測定値がもっとも大きく關係することをたしかめた。